

2016 年度第 3 回幹事会議事概要（案）

日 時 2016 年 8 月 3 日（水）15：30～ ※正副幹事長会議 15:00～

場 所 中央大学駿河台記念館 5 階 550 号室

出席者数 31 名

議 題

1. 総会・卒業 50 周年イベントの反省について

宮田幹事長から以下の①～④の説明があり了承した。

- ①総会、講演会、落語会、記念式典、二次会を計画どおり実施できた。参加者は、来賓 6 名、会員 81 名、特別参加 29 名（うち会員以外の同期生 20 名）、計 116 名で目標 100 名を超えた。
- ②フラメンコショーに平山副幹事長令嬢の平山朗子先生に出演していただき、アトラクション効果は絶大だった。出演料は無料とのことだったが、当会としては感謝の気持ちとして 3 万円を贈呈したい。
- ③来賓、同期生、招待者、講師、フラメンコ出演者には礼状と写真を送った。同期生には旅行会参加とホームカミングデー参加を勧誘し、当会入会の案内もした。
- ④総会開催報告は、9 月発行予定の会報「総会報告号」並びにホームページに掲載する。なお、今回の総会・イベントの反省点を指摘する意見はなかった。

2. 旅行会参加者募集について

小笠原・角田幹事より、「卒業 50 周年記念「諏訪・蓼科高原バス旅行会」を 9 月 7 日(水)・8 日(木)に 1 泊 2 日の行程で実施する。参加者数目標を 50 名とし、参加会費を 18,000 円とする」旨の説明があった。しかし、本日の幹事会出席者から改めて参加申し込みを受け付けたところ 20 名にとどまり、さらに呼びかけることとした。

3. 会報「卒業 50 周年記念号」について

橋本・鹿島幹事から以下の説明があり、了承した。

会報「卒業 50 周年記念号」を 9 月に発行する。その内容は、①卒業 50 周年記念イベント開催の様、②長内幹事長による当会会報創刊号巻頭言、②藤本初代事務局長による 10 年間の当会の歩み、③会員からの寄稿文、③在学中体育会所属の当会幹事による座談会とする。現在 37 名から寄稿文が寄せられており、総頁数は 48 頁、印刷費見積もりは 30 万円で予算内に収まる。座談会のところに写真を載せたいが肖像権の問題で使えないため当時の写真を持っている人がいたら貸してほしい。本日は座談会の校正を行う。

4. ホームカミングデー参加について

宮田幹事長から以下の説明があり了承した。

当会は 10 月 23 日（日）のホームカミングデーに参加する。その一環として実施される大学主催「5 校地バスツアー」（10/22）及び「卒業後 50 周年学員懇親会」（10/23）にも参加する。できるだけ多くの会員の参加を期待する（申込 8/5 まで）。

6 月に大学が同期生 3,980 名に対して発送した上記行事の招待状に当会メッセージを同封してもらい、会員以外の同期生にも参加と入会を呼びかけた。

今後は、会報 9 月号「総会報告号」にホームカミングデー案内を掲載し、併せて、大学作成のリーフレットを同封し、会員に参加を呼びかける。

また、ホームカミングデーに関し、大学から、例年同様、①福引抽選会景品、②プログラムへの広告、③「中央の絆」参加の募集が来ているほか、今年は④第 1 回白門駅伝大会参加者募集（申込 9/30 まで）が来ている。①②については例年協力しており、③は昨年 1 名参加した。③④も奮って参加してほしい。

5. 事務局体制の充実について

宮田幹事長から以下の説明があり了承した。

事務局長の選任については、総会で事務局長不在を報告し、幹事会に選任を一任された。先刻の正副幹事長会議で検討したが候補者の選任には至らなかった。幹事会でも候補者が選出できない場合、適任者がおられたら幹事長に連絡してほしい。

事務局幹事も募集中のため、適任者がおられたら幹事長に連絡してほしい。

6. 幹事候補者の推薦について

宮田幹事長から以下の説明があり了承した。

総会議案の役員補充選任の件については、前回幹事会で幹事長に一任されたので、総会で岡本脩会員を幹事に推薦し承認された。その結果、役員は幹事 80 名、会計監事 2 名、計 82 名となった。幹事定員は 100 名であり、さらに幹事適任者がおられたら推薦願いたい。

7. 箱根駅伝予選会応援について

高橋俊介幹事から、10 月 15 日に立川・国営昭和記念公園で予定される標記予選会への応援要請と終了後の懇親会を「新中華立川北口店」で開催する旨の案内並びに選手の状況に関する話題のほか、年明けの本選及び新年会については次回幹事会で案内し、変更のお知らせや総合的な案内をホームページに掲載するなどの説明があった。

8. 下町散歩について

土田・高橋英基幹事から、10 月 4 日の「下町散歩」（寛永寺～朝倉彫塑館～谷中銀座～根津神社）の発表と参加者募集の案内があった。

9. 解散時期に関する提案

田中兼勝幹事から、高齢になると大学に貢献できなくなるとして、卒業 60 周年を機に当会を解散することの提案があり意見交換を行った。高齢化すると年次支部よりも地元の地域支部のほうが活動しやすいという発言もあった。

10. 報告

平山副幹事長：白門三六会定時総会・卒業 55 周年記念式典出席報告（6/3）

42 年白門会定時総会懇親会出席報告（6/18）

宮田幹事長：白門 46 会定時総会懇親会出席報告（7/9）

以 上